いちむら・なおや
2004年東京医科歯科大学医学部保健衛生学科卒業。臨床検査技師。2018年同大学院保健衛生学研究科生体検査科学専攻先端分析検査学分野博士課程修了。保健学博士取得。大学時代はワンダーフォーゲル部に所属し、今でも休日には登山を楽しむ。

卒業生の今
活躍する医科歯科人

検査を究めるのではなくマネジメントで貢献したい

東京医科歯科大学医学部附属病院検査部
臨床検査技師長
市村直也氏
Naoya Ichimura

臨床検査技師は、最先端の技術を駆使して各種検査を行うスペシャリスト。医学部附属病院検査部で臨床検査技師長を務める市村直也さんは、自身の取り組みを語る。

「臨床検査技師として仕事をするようになった頃よりもさらに検査機器の自動化が進んでいます。検査技術が高度化、複雑化する中で、メンバー間の連携やマネジメントの重要性を知りました」

保健衛生学科在学中に学んだ発生生物学に興味を持ち、基礎研究の道に進むことも考えた。しかし、ひとつのことを究める研究より、対応領域の広い臨床検査の世界を選んだ。

「臨床検査技師になってからは、ITやメカニカルの知識に長けた上司からたくさんのことを学び、自分でプログラムを組むようになりました。全体を統合する情報システムを知ることで、別の視点で臨床検査の問題をとらえられます」

チーム医療や検査環境の改善など、臨床検査技師長として取り組むべき課題は山ほどあるが、「毎日がすごく楽しい」とほほえむ。その理由は、学生時代から親しむ登山にも通じる。

「学生時代は山頂に立つことが目的でしたが、今は山頂までの紆余曲折があるからこそ達成感があるのだと気づきました。仕事でも、トライアンドエラーを繰り返して、たくさんアウトプットすることで結果につながるのです」

診療科との共同研究をスタートするなど、多職種連携にも積極的に取り組む。チーム医療の一員として、さらに存在感を発揮することになるだろう。B

医学部附属病院検査部

【基本データ】
検査内容：生化学検査、血液学検査、免疫学検査、一般検査、緊急検査、遺伝子検査、細菌検査、心電図検査、脳波検査、筋電図検査、呼吸機能検査、腹部エコー検査、心エコー検査、その他の生理機能検査
人員構成：　部長：東田修二、副部長、技師長、副技師長3名、専任医師5名、臨床検査技師53名、看護師1名、事務職員2名
認定資格を有する技師：一級臨床検査士（微生物学）、認定臨床微生物検査技師、感染制御認定微生物検査技師、認定臨床化学者、認定血液検査技師、超音波検査士、関節リウマチ学会登録ソノグラファーなど